

セコム株式会社
株主通信

6月
2006年

第45期決算報告



SECOM

ホームセキュリティ
店舗でお気軽
ご来店ください

Secom Now

セコムの家庭市場への取り組み



セコムはいま、暮らしの中の「不安」や
「困ったこと」にお応えする
サービス・商品を次々と開発・提供しながら、
ホームマーケットを深耕しています。

ますます重要になる在宅時の安全対策

4分弱に1件の割合で発生——これは警察庁が調べた2005年度の「住宅を対象とする侵入盗認知件数・約14万2000件」を時間換算した数値で、今日では侵入犯罪が日常化していることを示しています。それだけではありません。犯罪状況も変わりました。昔は家に誰もいないときを狙って侵入するケースが多かったのですが、今は家に人がいるときでも侵入するケースが増えています。これは非常に危険です。

たとえば就寝中に忍び込み、家族に気づかれた途端、強盗に居直るおそれがあるからです。また、計画的で凶悪な強盗が増加傾向にあるのも、社会に不安を与えています。彼らの中には、周到に下見をし、

生活パターンを調べた上で侵入し、物を強奪するだけでなく家族に危害を加えることもあります。この

ため、家庭の防犯対策は、「外出時の財産」と「在宅時の家族」の両方を守ることが求められています。



セコム・コントロールセンター

24時間365日オンラインだから安心

外出時はもちろん、在宅時もしっかり守るのが、「セコム・ホームセキュリティ」です。たとえば就寝時、あるいは日中でも一人きりなどの不安なとき、「在宅セコム」モードにしておけば、窓の開閉などの異常が発生した際、警報音と音声でお客様に異常を知らせるとともに、セコム・コントロールセンターへ通報され、緊急対処員が直ちに駆けつけるので安心です。これに

比べ、在宅時に異常を非常ボタンで通報するだけのホームセキュリティの場合は、警備会社が迅速に対応できるか否かは、利用者がいかに早く異常に気づき、いかに早く非常ボタンを押すかに左右されるという問題があります。

このように、24時間365日休みなく家庭を見守り続けることで、高い安心感を提供する「セコム・ホームセキュリティ」。その優位性をマーケットに向けて訴求しています。

なお、このたび「セコム・ホームセキュリティ」を住宅の規模・形態に合わせて4タイプ、すなわち部屋数の少ないマンション、比較的小さめの戸建住宅、平均的なサイズの戸建住宅、二世帯住宅など部屋数の



セコムのビートエンジニア(緊急対処員)

多い住宅に分けフルラインアップしました。これにより、これまで以上に幅広い層のお客様のご要望にお応えできるようになりました。

在宅時の安全を強化する商品を提案

犯罪の巧妙化・凶悪化が進んでいることから、セコムでは「セコム・ホームセキュリティ」にプラスして、在宅時の安全を強化するサービス・商品を数多く開発しています。

その中からいくつかご紹介すると、戸建て住宅の侵入手口の約6割がガラス破りであることから開発した「SECOMあんしんガラス」「SECOMあんしんフィルム」があります。「SECOMあんしんガラス」は3層構造の防犯合わせガラスで、ハンマーで叩いても割れにくく、ひとたびガラスが

Secom Now

割れると全面に細かいひびが入り、“バンツ”という大きな破壊音を出すため周囲の注目を引きまします。強靱な中間膜の効果で貫通が困難な上、破壊を検知して異常信号がセコム・コントロールセンターに送信され、緊急対応員が直ちに駆けつけま



「SECOMあんしんガラス」

す(センサー付きの場合)。また、「SECOMあんしんフィルム」は強靱な防犯フィルムで、ガラスに貼り付けると、ガラスがなかなか破れないため、侵入を諦めさせる効果があります。

「セキュリフェースインターホン」、これは、わが国初の「顔検知機能」を内蔵したインターホンです。近年、宅配業者などを名乗る押し込み強盗も増加傾向にあり、こうした犯罪からご家族を守るために開発した商品で、インターホンのカメラから顔を隠してボタンを押すと、室内では呼び出し音を鳴らさず、来訪者には音声ガイダンスで警告を行います。



「セキュリフェースインターホン」

「屋外画像監視サービス」は「セコム・ホームセキュリティ」のお客様専用のサービスで、庭先で侵入をくい止めることを目的に開発されました。屋

外のセンサーが侵入を検知すると、屋外のカメラからの画像がセコムに送信されます。セコムではその画像を見て侵入者と判断した場合、敷地内に設置した屋外用スピーカーを通じて音声警告を行うとともに、お客様に危険を知らせます。また、緊急対応員を急行させ、必要に応じて110番通報を行います。敷地をセコムの常駐警備員に常に見守られているような安心感が得られます。

ご家庭のさまざまなニーズに対応

セコムでは、セキュリティサービス以外にも「安全・安心」をコンセプトにご家庭内のさまざまなニーズにお応えするサービスを提供しています。一つは、「セコム・ホームセキュリティ」のお客様を対象にした生活支援サービス

「セコム・ホームサービス」です。

これは、安全のプラ

コをはじめとするセコムのスタッフが暮らしの不安を解消する「あんしんサポート」、家事のお手伝いを、セコムとセコム医療システム(株)のスタッフ、または提携会社が行う「家事サポート」、突発的に発生

した住まいのトラブルに、専門の提携会社が素早く対応する「トラブルサポート」を提供するもので、お客様サービスセンター内に設けた「ホームサービスデスク」の専任スタッフが24時間365日体制で対応します。現在、「セコム・ホームセキュリティ」のお客様が特に多い、東京・神奈川・大阪・兵庫の一部地域でサービスを提供しており、「助かった」「ありがとう」といったお言葉をたくさんいただいています。

同じく「セコム・ホームセキュリティ」のお客様へのサービスとして、健康の維持・増進に役立つ「セコム・メディカルクラブ」を提供。予防医療関連サービス、救急医療関連サービス、提携医療機関・専門医



「セコム・ホームセキュリティ」

などの紹介サービスを柱としたサービスをご利用いただけます。

このように、セコムでは、セキュリティサービス、生活支援サービス、健康・医療サービスなどをトータルに提供することで、「セコム・ホームセキュリティ」の利用価値を高めながら、ホームマーケットの深耕に取り組んでいます。

「セコムトラストシステムズ株式会社」を設立 さらなるサービスクオリティ向上のため 情報系2社を合併

2006年5月1日、セコムの情報系グループ企業のセコム情報システム(株)とセコムトラストネット(株)を合併し、「セコムトラストシステムズ株式会社」を設立しました。

これにより、両社が手掛けてきた情報セキュリティや情報サービス事業の経営資源を集中・融合化し、“情報セキュリティと大規模災害対策をコアとしたトータル情報サービス会社”をめざして強化を図ります。

旧セコムトラストネット(株)は、情報通信ネットワークの安全・安心を提供する会社として、世界最高水準の堅牢性を誇るセキュアデータセンターや、認証サービス、不正監視・ウイルス監視サービスなどのサイバーセキュリティ事業を展開。一方、旧セコム情報システム(株)は、企業の基幹システムをはじめとしてさまざまな情報通信ネットワークの構築と運用サービスや、災害時の安否確認サービスなどIT技術を活用した大規模災害対策サービスを推進してきました。

景気回復が顕著になる中で、各企業の活発なIT投資に的確に対応するべく、このたび、両社の営業力、提案力およびシステム開発力などを統合し、新サービスの開発やお客様へのサービス向上を図ることとしました。

新生セコムトラストシステムズ(株)は、情報セキュリティサービスや、ITを活用した大規模災害対策事業、システム開発事業、ネットワーク事業などで「安全」「安心」に立脚したサービスを提供してまいります。

株式会社パスコ、個人向けとして はじめての「帰宅支援マップサービス」 を開始

セコムグループの地理情報サービス事業を担う(株)パスコは、2006年4月から個人向けとしては日本初の「帰宅支援マップサービス」を開始しました。

首都直下型地震の発生による帰宅困難者は、448万人と推定されています。勤務時や外出時に大地震が発生して交通機関が止まってしまった場合、首都圏では大混乱が予想されます。今回、パスコが開始した「帰宅支援マップサービス」は、帰宅支援マップサービスサイトへアクセスし、必要項目を入力するだけの簡単登録。勤務地や想定される外出先からご自宅

までの帰宅ルートを自動的に検出し、災害発生時に安全により早く帰れるオリジナルの帰宅マップを作成します。

月額使用料210円(税込)、帰宅ルート図のダウンロード費用315円(税込)で、その人だけの出発地、目的地、ルートを中心に作成するオリジナルの地図帳は、危険度を色分け表示し、徒歩での帰宅を支援する各種施設の情報も掲載されています。地図は、ルート全体図、詳細地図、交差点拡大図の3種類を使い日頃地図に親

しんでいない方にも分かりやすい親切設計になっています。

災害対策の重要性が高まる中、パスコは企業だけでなく、個人に対するサービスも充実していきます。



「帰宅支援マップサービス」端末画面(上)と地図帳(下)

*出発地(勤務地など)は東京23区内、
目的地(ご自宅)は東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県のエリアに限ります。

山口県美祢市の わが国初のPFI刑務所「美祢社会復帰促進センター」 来年4月オープンに向け建設急ピッチ

セコムを代表企業とするグループが競争入札に参加・落札し、現在山口県美祢（みね）市に建設中の、わが国初のPFI刑務所「美祢社会復帰促進センター」のレポートをお届けします。

「美祢社会復帰促進センター」は、今年1月11日（水）に現地で安全祈願祭が挙行され、本年1月から建設着工。来年1月の施設建設完了、4月のオープンに向けて、本格的に建設が進んでいます。

同センターは、セコムを筆頭株主とした特別目的会社・社会復帰サポート美祢（株）が建設・運営にあたりますが、民間の資金やノウハウを活用して、効率的な公共サービスの提供を図るPFI方式で2007年4月の建設完了後、18年間運営される刑務所です。「この施設には男女初犯受刑者1000名が収容され、公権力に関わる部分を除いては民間が運営にあたります。施設には受刑者の現在位置を確認できる位置把握システムや、鉄棒柵に代わり強化ガラスを採用。そのほかにも最新のセキュリティシステムが導入され、効果的・効率的な管理運営が行われるほか、矯正教育や職業訓練の充実にも力を入れています」（社会復帰サポート美祢常務・太田幸充）

山口県美祢市は、県南部の海沿いにある宇部空港から車で北に向かって走ること45分、緑に囲まれた自然豊かな土地柄。



「美祢社会復帰促進センター」建設現場（山口県美祢市）



「美祢社会復帰促進センター」完成予想図

さらに車で山間の道路を15分ほど走ると「美祢社会復帰促進センター」の建設地に到着します。工事中の敷地は約28万m²、両翼100mの野球場であれば28面も入るといいう広さです。すでに基礎工事が終わり、センターの建設は順調に進んでいます。

今回のPFI刑務所の建設と運営は、雇用など地域活性化の側面も併せ持ちます。3月29日には現地で雇用説明会があり、約150名の採用予定のところ約500名も参加者が集まり、関心の高さをうかがわせました。5月からは、刑務官のサポートなどを行うセキュリティスタッフの採用試験を、セコム人事部が現地で実施しています。こうした取り組みに社会的な関心は次第に高まり、新聞やテレビなど多くのマスコミからも取材要請が殺到しています。

セコムとしては、PFI方式による官民協働による初の刑務所運営という新しい事業分野への進出を通じて、PFIや刑務所運営のノウハウが取得できます。これにより、新事業の拡大だけでなく、受刑者の社会復帰・再犯防止策などの業務を通じての社会貢献を行ってまいります。



社会復帰サポート美祢
常務 太田幸充

横浜市に建設中の介護付有料老人ホーム 「コンフォートガーデンあざみ野」 10月開設に向けモデルルームもオープン

セコム医療システム(株)の100%出資会社であるセコムフォート(株)が、横浜市青葉区に建設中の介護付有料老人ホーム「コンフォートガーデンあざみ野」のモデルルームが2006年5月22日にオープンしました。

建物は地上3階建てで、住居棟が105居室、介護棟が21居室、全戸南向きで、丘の上に建つので眺望がよく、天気の良い日には富士山が見えます。加えて、約5000坪の敷地の6割が外構空間で、そこに7つのテーマを持つヒーリングガーデンが配されます。この施設のコンセプトは、「コンフォートエイジング」つまり「快適に年を重ねること」。高齢者はいろんな不安を抱えていますが、共通しているのは「加齢にともなう健康面の不安」です。その不安を感じることなく快適に年を取っていただくというものです。このコンセプトがよく表れているのが医療・介護体制です。

高齢者の一番の不安は日々の体調です。このため、健康管理から急病時の対応までを行うクリニックが建物内に設けられ、入居者一人ひとりのホームドクターの役目を果たします。介護につ



オープンしたモデルルーム

いては、夫婦のどちらかがケアが必要になってもそのまま一般居室でケアを受けることができます。もし、重度の要介護状態になった場合は、介護居室で専門の

スタッフによるケアを受けることができます。

また、コンフォートエイジング・エリア(カリア)と呼ばれる空間を設けます。「カリアは、ちょっとしたサポートがあれば一般居室で自立した生活を送ることができる人のための空間です。『自立か要介護か』という二者択一的な考え方を排除し、一般エリアと介護エリアの中間に位置するこの空間を設けます。こうした空間は他の老人ホームにはありません。さらに、植物の世話などを通じて人が持っている生命力を活性化する園芸療法も採り入れられます」(コンフォートガーデンあざみ野シニアマネージャー・西川勝利)

居室は玄関に段差がなく開口部は広いドアを使用、床材には滑りにくい素材を採用するなど、細心の注意を払って設計、また、高級有料老人ホームでは、よくホテルのような内装を謳い文句にしますが、ここではあくまでも住まいであるという観点から、見た目の豪華さより住んでみてよさが分かる居心地のよさ、使い勝手のよさを重視しています。食事も、日常食をテーマに、見て楽しく、食欲がわき、食べやすいことに重点を置いた料理の提供をめざしています。もちろん、施設内の安全管理体制は万全を期します。

現在、順調に建設工事が進む「コンフォートガーデンあざみ野」は、いよいよ2006年10月1日にオープンします。

コンフォートガーデンあざみ野
シニアマネージャー 西川勝利



「コンフォートガーデンあざみ野」完成予想図

個人株主の方やお客様のご要望に
幅広くお応えする

2006年3月期の決算を終え、
業績や戦略面について
個人株主のみなさまの
3つの「なぜ？」に、
セコム社長の原口兼正がお答えします。

今期の業績で目を引くのは、
売上高の伸びに比べて営業利益の伸びが
際だっていることです。要因は何でしょうか？

これは年金資産の運用環境が良かったことによる
ものです。今期は、年金資産の運用成果が期待運用
収益を大幅に上回ったため、営業利益が押し上げら
れました。来期の見込みでは退職給付会計の数理計
算上の差異をゼロにしています。セコムでは、2002
年にこの数理計算上の差異を発生年度に一括損益
処理する方法へ変更したので、累積的な影響はあり
ません。

また、2003年にキャッシュバランス制度を導入し
たことで、資産運用環境に応じた運用利回りを設定
することが可能になったため、今後、運用利回りが多
少悪くなくてもその影響は小さくなります。従って、
経営に与えるインパクトを緩和することになります。

セコム株式の単元株式数を、
8月1日付で、500株から100株に
引き下げることにしたのはなぜですか？

セコムでは、株式の流動性の向上と投資家層の拡大をはかるため、1999年に1株を2株にする株式分割、2000年に投資単位の引き下げ（1000株から500株）を行いました。それから6年が経過し、現状の当社株価の推移や市場の要請などを勘案して、今回、単元株式数の変更を決定しました。

かねてより、ホームセキュリティのお客様を中心とした個人投資家の方々から、「セコムの株式を買いたい、最低投資単位が500株では250～300万円前後になり、手軽に買えない。もっと少ない投資で買えるようにしてほしい」という要望が数多く寄せられ、それにお応えすることにしたのです。これを機に、個人株主の方が増えることを期待しています。

ホームセキュリティをはじめ、
セキュリティサービスの需要が
多岐にわたっていますが、このことに対しては？

このところホームセキュリティの需要が高まっていますが、そのニーズは多様化しています。たとえば、セキュリティシステムを標準装備していないマンションにお住まいの方からの需要も増えていますが、二世帯住宅や職住一体型住宅にお住まいの方からの需要も増えていきます。

こうしたニーズに対し、マンション入居の方の個別の需要に応じることができるよう、シンプルなホームセキュリティを用意しました。また、二世帯住宅など部屋数の多い住宅には、ご要望に応じて「屋外画像監視サービス」などもご利用いただける、高機能タイプのホームセキュリティを用意しました。

このように、ご家庭のライフスタイルや住宅規模に合わせて、最適なホームセキュリティを選んでいただけるようにすることで、あらゆる層のお客様のニーズにお応えし、今後とも積極的に家庭市場を開拓していこうと考えています。

また、企業向けセキュリティについては、営業体制の強化策として、大型システムや出入管理システム、監視カメラシステムなどを専門に手掛ける「システム設計センター」を全国に配置しました。今後、企業向けセキュリティの業績に大きく貢献する起爆剤の役割を果たすことをめざしています。



セコム株式会社
代表取締役社長

原口 兼正

Book of Security

セコムIS研究所が初めて執筆した防犯対策本 「セコムが教える 防犯プロのアドバイス」が発刊

セコムIS研究所編の防犯対策本
「セコムが教える 防犯プロのアドバイス」が、6月26日、
日経BP社から発刊されました。
セコムが「セコム・ホームセキュリティ」の提供を通して
蓄積してきた防犯に関するノウハウを集大成した、
一般向けの実践ハンドブックです。

● 本書のあらまし

セキュリティのセコムが書き下ろした本、というのが本書の最大の特長です。セコムは、1981年にわが国初の家庭向け安全システム「セコム・ホームセキュリティ」を発売以来、25年間にわたり、「ご家庭の安全」を提供してきました。また、セコムIS研究所は長年にわたってセキュリティの調査研究を行ってきました。この間に蓄積してきた豊富なノウハウや経験を集大成することにより、本書は市場に出回っている類書とはひと味違う、より具体的で実践的な防犯対策集になっています。

本書は、日常生活の中で遭遇しやすい犯罪の「事例」と「傾向」を示し、それに対する回答として「定理」と「対策」を併記してい

るため、たいへん分かりやすい構成になっています。また、随所にコラム(実用知識)や統計を盛り込むなど見せ方にも工夫しています。全体で110ページとコンパクトなため手軽に読めることも特長です。防犯対策本というと難しい本をイメージしますが、本書は犯罪事例をたくさん紹介しているので、読みものとしても面白い仕上がりになっています。

● 執筆者に聞く

— 一言でいうとどんな本ですか。

甘利 ふだん生活をする上でこういうことに気を付けると犯罪に巻き込まれる危険が少なくなります、ということを訴えた本です。
— まず、どんな犯罪があるか洗い出されたそうですね。

甘利 全部で200テーマぐらいになりました。ここから頻度の高いものや危険度の高いものから優先順位をつけ、23テーマにまで絞り込みました。

濱田 当初は、朝起きてから夜寝るまでにどういうリスクがあるかを順番に並べていって、その一つひとつについて注意すべき点を書いていたら読みやすいかなとも思いましたが、最終的には、セコムの本らしく侵入犯罪を中心に書くことになりました。

The Security

【執筆者紹介】セコムIS研究所(セキュリティコンサルティンググループ)

セコム株式会社の研究機関。本書の執筆を担ったセキュリティコンサルティンググループは、セキュリティ理論の学術的な研究と共に、セキュリティに関するコンサルティングや啓発活動などに努めている。本書は、同グループのグループリーダー・甘利康文、濱田宏彰が中心になって執筆し、セコム広報室が協力した。

甘利 初めは子どもをターゲットにした犯罪は意識していませんでしたが、防犯絵本「白いおぼけのスー」(駒草出版・昨年12月発刊)の監修を行った経験を活かし、「子どもを犯罪から守る」という章も設けました。

濱田 人々の関心の高さからも、子どもを狙った犯罪や強盗などの侵入犯罪は外せないということになったんです。

——テーマごとに、「事例」と「傾向」、「定理」

と「対策」が併記されていますが、大事なのは「対策」ですね。

甘利 人がリスクに対応するとき、対策は三つあります。一つは、なるだけ事が起きにくくするための対策。二つ目は、事が起きたときに被害が大きくならないための対策。三つ目は、金銭的に窮地に陥らないための対策です。この中でも特に一つ目と二つ目のことを意識しながら書きました。

——対策の例を上げてください。

濱田 よく勘違いされているのは網入りガラス。いかにも割れにくそうだから泥棒対策にいいと思っている方がかなりいらっしゃいます。「実はこれは防火用ガラスで、簡単に割れてしまいますよ」



タイトル ● 「セコムが教える 防犯プロのアドバイス」

執筆者 ● セコムIS研究所

発行 ● 日経BP社

定価 ● 1,050円(税込み)

ページ数 ● 110ページ

と言うと「えっ! そうなの?」と。このように意外に知られていないことが結構ありますね。

甘利 防犯セミナーでよくやることですが、会場の女性にお願いして、舞台上がってきてもらい、「ご自宅の鍵を出してください」と言うと、ハンドバックから出される。次に「ご自宅の住所の書いてあるものを出してください」と言うと、大体同じハンドバックから出てくる。これではハンドバックを盗られたら危ないですよと。

濱田 対策といっても別に難しくないんですよ。たとえば、玄関で見知らぬ人と話をするときはドアを大開きにしなとか、ちょっとした心がけで防げる犯罪は多いんです。

——最後に、この本をどのように活用してもらいたいですか。

甘利 本に書かれた対策の一つひとつは些細なことに見えるかも知れませんが、それぞれ役に立つことで誰にでもできること。そして実践することで大きな防犯効果が期待できるものばかりですので、「これはいい」と思ったことから取り組んでいただきたいと思います。

Professionals



IS研究所
セキュリティコンサルティンググループ
グループリーダー 甘利康文

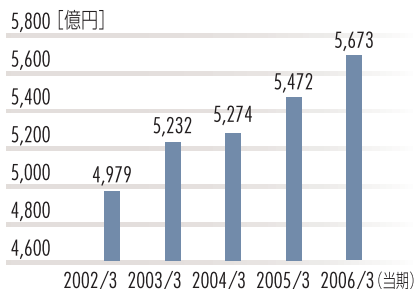


IS研究所
セキュリティコンサルティンググループ
濱田宏彰

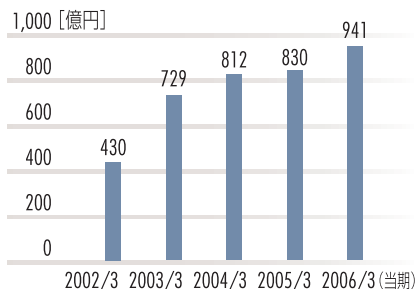
Review

連結決算報告 業績ハイライト

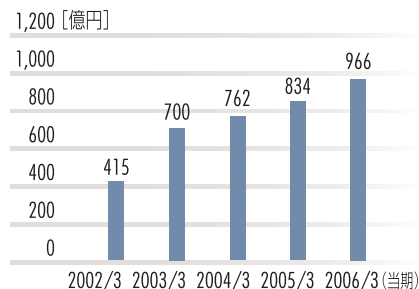
売上高



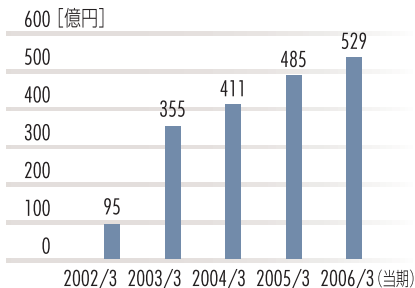
営業利益



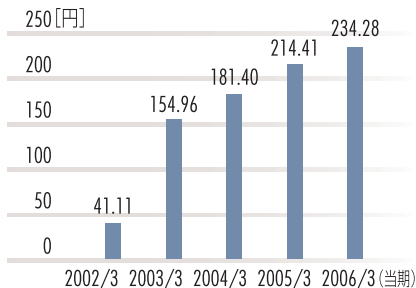
経常利益



当期純利益

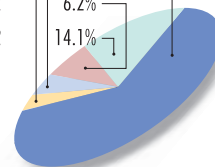


1株当たり当期純利益



事業別売上高内訳

セキュリティサービス事業	3,934 [億円]	69.4%
メディカルサービス事業	290	5.1%
保険事業	292	5.2%
地理情報サービス事業	352	6.2%
情報通信・その他の事業	802	14.1%



営業の概況 (連結)

近年の治安の悪化、個人情報の保護に関する法律の完全施行などを背景に、安全・安心に対する社会的ニーズはますます多様化・高度化しています。このような状況の中、当期のセコムグループは、「社会システム産業」の本格展開に向けて、新サービス・商品の提供や事業所の新設・再配置を行うなど、中核となるセキュリティサービス事業を拡充させる一方、メディカルサービス事業、保険事業、地理情報サービス事業、情報通信・その他の事業を積極的に展開し、顧客のニーズにより一層合致した高付加価値サービス・商品を提供することに努めました。

これらの結果、当期における連結売上高は5,673億円(前期比200億円、3.7%の増収)、年金資産の運用が期待収益を大幅に上回った(営業費用の減少)影響もあり、連結営業利益は941億円(前期比110億円、13.3%の増益)、連結経常利益は966億円(前期比131億円、15.8%の増益)、特別利益に係関係会社株式売却益72億円を含む93億円を、特別損失に貸倒引当金繰入額32億円・電話加入権評価損27億円・役員退職慰労引当金繰入額11億円を含む111億円を計上し、連結当期純利益は529億円(前期比44億円、9.2%の増益)となりました。

連結貸借対照表(要旨)

2006年3月31日現在

<単位: 億円> *注: 金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

資産の部

流動資産	5,519
現金及び預金	2,717
コールローン	250
受取手形及び売掛金	526
未収契約料	176
有価証券	838
たな卸資産	641
短期貸付金	155
その他	212
固定資産	5,973
有形固定資産	2,340
建物及び構築物	772
警報機器及び設備	630
土地	655
その他	281
無形固定資産	243
投資その他の資産	3,389
投資有価証券	2,310
長期貸付金	575
前払年金費用	111
繰延税金資産	112
長期前払費用	144
その他	133
繰延資産	0
資産合計	11,493

負債の部

流動負債	3,034
支払手形及び買掛金	186
短期借入金	1,128
一年以内償還予定社債	322
未払金	263
未払法人税等	221
前受契約料	307
その他	604
固定負債	3,143
社債	111
長期借入金	134
預り保証金	289
退職給付引当金	113
保険契約準備金	2,456
その他	36
負債合計	6,177
少数株主持分	354
資本金	663
資本剰余金	830
利益剰余金	3,880
株式等評価差額金	132
為替換算調整勘定	△98
自己株式	△447
資本合計	4,961
負債、少数株主持分及び資本合計	11,493

資本の部

Review

連結損益計算書(要旨)

2005年4月1日から2006年3月31日まで
〈単位: 億円〉 *注: 金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

売上高	5,673
売上原価	3,510
売上総利益	2,162
販売費及び一般管理費	1,221
営業利益	941
営業外収益	157
営業外費用	132
経常利益	966
特別利益	93
特別損失	111
税金等調整前当期純利益	948
法人税、住民税及び事業税	348
法人税等調整額	31
少数株主利益	38
当期純利益	529

〈参考〉	●連結子法人等の数	125社
	●持分法適用非連結子法人等の数	該当なし
	●持分法適用関連会社数	30社
	●1株当たり当期純利益	234円28銭

主な連結子法人等の紹介

セコム上信越(株)

1967年5月に設立。新潟市に本社を置き、新潟、長野、群馬の3県をエリアとする上信越地方最大のセキュリティ会社。2002年2月に東証二部上場。セキュリティ事業を中心に、「社会システム産業」の構築をめざしています。

セコムテクノサービス(株)

1970年5月に設立。本社は東京都中野区。1999年10月に東証二部上場。セコムの安全システム工事を中心に、電気設備などの建築設備を施工。また、快適なビル環境の実現に向けて建築設備のメンテナンスを核に、設計から施工、維持管理までの一貫したトータルサービスを提供しています。

セコム医療システム(株)

2002年3月、セコムグループのメディカル事業を統合し設立。セコムグループのメディカルサービスを統轄しています。訪問看護や在宅介護サービスのほか、ITを駆使したわが国初の医療機関向け遠隔画像診断支援サービス「ホスピネット」や電子カルテなど、独自のメディカル事業を展開しています。

セコム損害保険(株)

1998年9月、東洋火災海上保険(株)にセコムが資本参加。現在はセコム損害保険(株)としてセコムが筆頭株主となっています。セコムグループのシナジーを最大限に活用し、「火災保険セキュリティ割引」「セコム安心マイホーム保険」や現場急行サービスも行う「NEWセコム安心マイカー保険」、ガンを治すための「自由診療保険メディコム」など、業界他社とは異なるセコムグループならではの保険商品を販売しています。

セコムトラストシステムズ(株)

サイバーセキュリティ事業の戦略的展開を図るために設立した「セコムトラストネット(株)」と、セコムグループのIT戦略推進会社の「セコム情報システム(株)」を2006年5月1日付で合併し、「セコムトラストシステムズ(株)」を設立。両社が手掛けてきた情報セキュリティや情報サービス事業の経営資源を集中・融合化し、「情報セキュリティと大規模災害対策をコアとしたトータル情報サービス会社」をめざして強化を図っていきます。

(株)パスコ

1999年、8月にセコムグループ入りした、地理情報サービスと航空写真測量の東証一部上場企業。欧米をはじめ世界に共同開発拠点を置き、システム技術、測量・計測技術、建設コンサルタント技術の3つの技術を融合した新情報サービスを提供し、さらに新規市場を開拓しています。

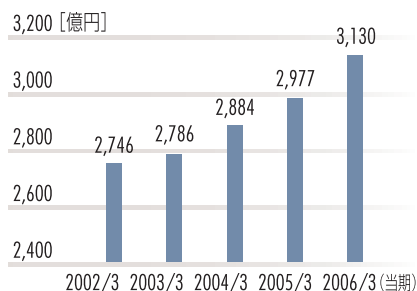
セコム 西科姆中国グループ

1992年12月に西科姆中国有限公司を設立。本社は北京市。1993年7月、日本企業初の持株会社としての認可を取得。現在、大連、上海、北京、青島、深圳で展開する中国グループの本社の役割を果たしています。上記5市で、各地の現地法人と合併でセキュリティ会社を設立し、オンライン安全システムを提供しています。

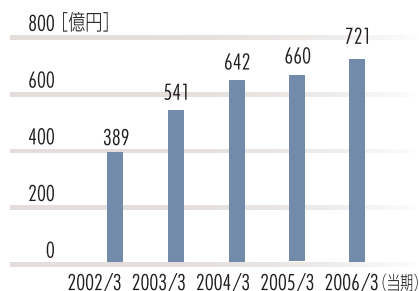
Review

単体決算報告 業績ハイライト

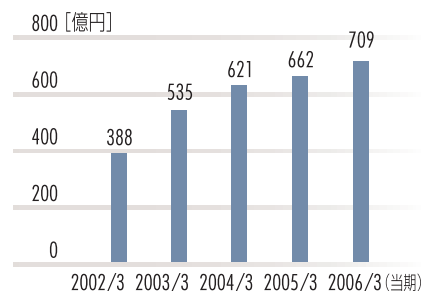
売上高



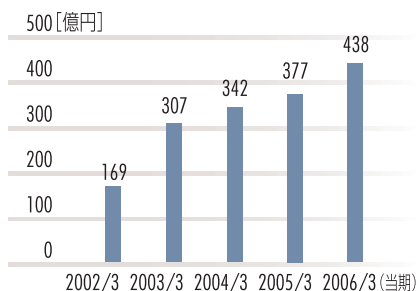
営業利益



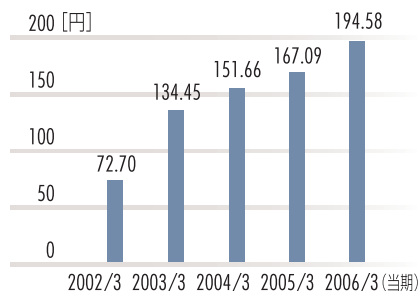
経常利益



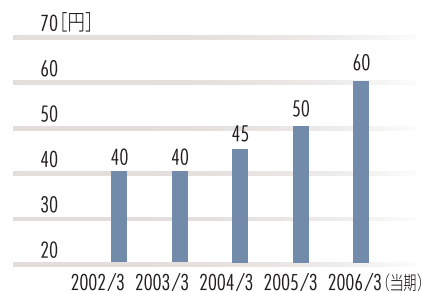
当期純利益



1株当たり当期純利益



株主配当金 (1株当たり)



営業の概況 (単体)

当期の売上高は、3,130億円 (前期比153億円、5.1%の増収)、営業利益は721億円 (前期比61億円、9.3%の増益)、経常利益は709億円 (前期比47億円、7.2%の増益)、当期純利益は438億円 (前期比61億円、16.4%の増益)となりました。

部門別の売上高の内訳は、セントラライズドシステム契約が2,235億円 (単体総売上高の71.4%)、常駐契約が218億円 (同7.0%)、現金護送契約が164億円 (同5.3%)、その他契約が110億円 (同3.5%)、商品・機器売上が402億円 (同12.8%)です。

Review

単体貸借対照表(要旨)

2006年3月31日現在

<単位: 億円> *注: 金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

資産の部

流動資産	2,156
現金及び預金	1,670
未収契約料	94
売掛金	64
たな卸資産	68
短期貸付金	130
その他	127
固定資産	4,283
有形固定資産	1,224
建物	228
警報機器及び設備	594
土地	322
その他	79
無形固定資産	66
投資その他の資産	2,993
投資有価証券	629
子会社株式・出資金	1,336
長期貸付金	587
長期前払費用	221
繰延税金資産	62
その他	155
資産合計	6,439

負債の部

流動負債	1,573
買掛金	31
短期借入金	260
一年以内償還予定社債	300
未払金	166
未払法人税等	153
預り金	344
前受契約料	223
その他	93
固定負債	250
退職給付引当金	55
役員退職慰労引当金	12
預り保証金	182
負債合計	1,823

資本の部

資本金	663
資本剰余金	830
利益剰余金	3,513
株式等評価差額金	56
自己株式	△447
資本合計	4,616
負債及び資本合計	6,439

単体損益計算書(要旨)

2005年4月1日から2006年3月31日まで

<単位: 億円> *注: 金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

売上高	3,130
売上原価	1,718
売上総利益	1,412
販売費及び一般管理費	691
営業利益	721
営業外収益	62
営業外費用	75
経常利益	709
特別利益	61
特別損失	56
税引前当期純利益	714
法人税、住民税及び事業税	247
法人税等調整額	28
当期純利益	438

<参考> ● 1株当たり当期純利益 194円58銭

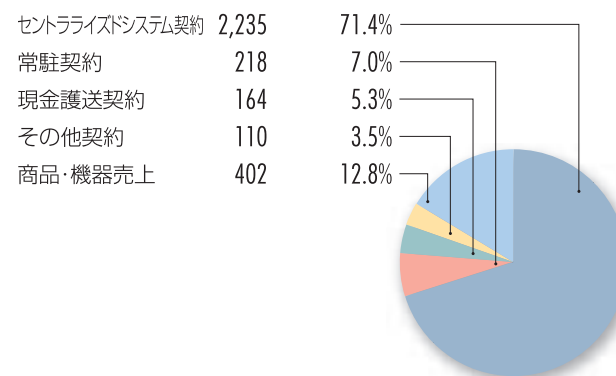
利益処分

<単位: 円> *注: 株主配当金は、自己株式8,301,997株を除いて計算しております。

当期末処分利益の処分	
当期末処分利益	339,293,864,441
買換資産圧縮積立金取崩額	24,439,271
計	339,318,303,712
上記金額を次のとおり処分します。	
株主配当金	13,499,203,200 (1株につき60円)
取締役賞与金	98,200,000
次期繰越利益	325,720,900,512

部門別売上高内訳 2006/3(当期)

<単位: 億円> *注: 金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

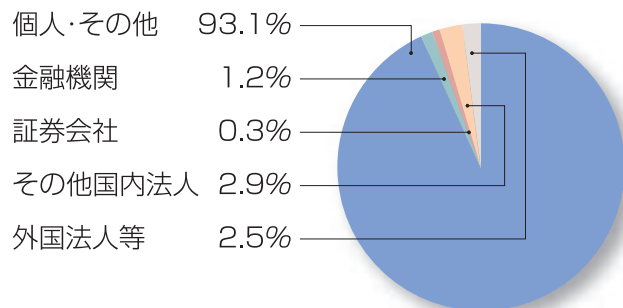


IR Informations

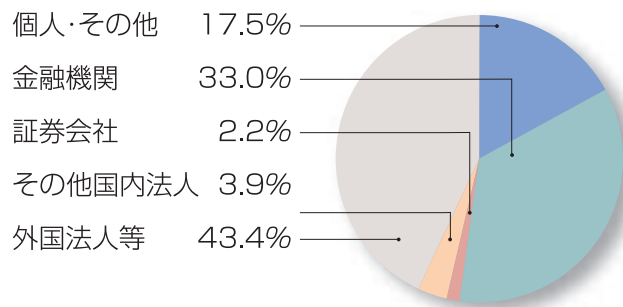
株式の状況 (2006年3月31日現在)

1. 会社が発行する株式の総数 900,000,000株
2. 発行済株式の総数 233,288,717株
3. 1単元の株式数 500株
4. 株主数 19,807名
5. 所有者別状況

● 株主数比率



● 株式数比率



株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月下旬
- 剰余金配当の基準日 3月31日
- 中間配当制度 なし
- 公告方法 電子公告
<http://www.secom.co.jp/koukoku/>
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。
- 上場証券取引所 東京証券取引所市場第1部
大阪証券取引所市場第1部
- 証券コード 9735
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒171-8508
- 同連絡先 (郵便物送付、電話照会) 東京都豊島区西池袋1丁目7番7号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-707-696 (フリーダイヤル)

● ご案内

1. 住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求に必要な各用紙および株式の相続手続き依頼書のご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤル0120-86-4490で24時間承っております。
2. 配当金を郵便貯金口座へお振り込みすることができます。お手続きには振込指定書のご提出が必要ですので株主名簿管理人に指定書用紙をご請求ください。

お知らせ

2006年8月1日付で、当社の単元株式数を500株から100株に変更します。また、同日付で、単元未満株式の買増制度を実施します。

Profile

会社概要

セコム株式会社

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-5-1

Tel: 03-5775-8100 Fax: 03-5775-8902

- 資本金 66,377百万円
- 社員数(グループ総数) 39,634名
- 事業内容

1962年、日本初のセキュリティ会社として創業。

1966年に日本で初めて開発したオンラインによる安全システムは、今では家庭や店舗、オフィスビル、金融機関、学校、医療機関、大規模商業施設などさまざまな施設に普及しています。

2001年からは、移動する人物・車両向けの新たなセキュリティサービスを開始したほか、常駐警備システムや現金護送システム、各種安全商品などの販売を通じて、社会に安全・安心を提供しています。

セコムグループは、現在、安全システムの普及を通じて培ってきた日本最大級の情報通信ネットワークをベースに、安心で、便利で、快適なサービスシステムを創造し、それらをトータルに提供する「社会システム産業」の構築をめざしています。

取締役 (2006年6月27日現在)

取締役(最高顧問)	飯田 亮
取締役(最高顧問)	戸田壽一
取締役(相談役)	杉町壽孝
取締役会長	木村昌平
代表取締役社長	原口兼正
専務取締役	佐々木信行
常務取締役	桑原勝久
常務取締役	前田修司
常務取締役	秋山勝夫
常務取締役	飯田志農夫
取締役	小幡文雄

監査役 (2006年6月27日現在)

監査役(常勤)	荻野輝雄
監査役	常松 健 *
監査役	安田 弘 *
監査役	山下耕平 *

*印の3氏は社外監査役であります。

執行役員 (2006年6月27日現在)

取締役会長	木村昌平
代表取締役社長	原口兼正
専務取締役	佐々木信行
常務取締役	桑原勝久
常務執行役員	小林清一郎
常務取締役	前田修司
常務取締役	秋山勝夫
常務取締役	飯田志農夫
常務執行役員	佐藤興一
常務執行役員	井東雄志郎
執行役員	森 誠一
取締役	小幡文雄
執行役員	伊藤 博
執行役員	小河原俊二
執行役員	杉井清昌
執行役員	高岡 実
執行役員	知野吉弘
執行役員	佐々木 守
執行役員	堤 晃
執行役員	東谷友男
執行役員	森下秀生
執行役員	小松崎常夫
執行役員	坂本正治
執行役員	安齋和明
執行役員	伊東孝之
執行役員	小松良平

個人情報保護法に対する セコムの取り組みについて

2005年4月1日から、個人情報を取り扱う事業者に対して、個人情報の取り扱い方法を定めた法律「個人情報の保護に関する法律」が完全施行されました。セコムは創業以来、セキュリティ会社として当然の責務であるお客様の個人情報などの機密の保持について、社内規程を設け厳格な管理を行ってまいりましたが、本法律の施行を受け、「個人情報保護方針（プライバシーポリシー）」を策定し、個人情報保護についてのセコムの方針を宣言しています。詳細は、セコムのホームページ（www.secom.co.jp）に掲載しておりますが、その概要をご紹介します。

セコムの「個人情報保護方針（プライバシーポリシー）」の概要

- セコムは、サービス、商品の内容に応じて、個人情報の利用目的を具体的に明示し、利用目的以外の利用を行わない。
- セコムとセコムグループ各社は、セコムとセコムグループ各社の製品、サービスの提供・紹介などの目的で個人情報を共同利用する。
- セコムは、法律で認められる場合を除き、個人情報を第三者に提供しない。
- セコムは、不正な手段で個人情報を取得しない。
- セコムは、契約者から契約者本人の個人情報の開示などの要求があった場合、本人確認を厳格に行った上で対応する。
- セコムは、個人情報漏えいなどの防止措置を適切に行う。
- セコムは、従業員および委託先に対して、個人情報の取り扱いに関する教育・監督を行う。
- 個人情報に関する問い合わせ窓口は、セコム(株)本社総務部とする。

www.secom.co.jp

会社情報・IR情報・サービス・商品・
プライバシーポリシー等について
のご案内をしています。

表紙写真のご説明

セコムショップ成城
(東京都世田谷区成城)

家庭向けシステム・商品を実際に体験いただき、最適な安全対策をご提案する「セコムショップ」を全国70カ所で展開しています。「セコムショップ成城」は、セコムの緊急発進拠点や、訪問看護・訪問介護の拠点と同居し、地域にセキュリティとメディカルサービスを一体的に提供するステーション機能を持ったショップの1号店です。現在、こうした機能を持つ「セコムショップ」を東京都大田区田園調布でも展開しています。

